

過疎地の学校教育支援

提案者名

株式会社秋田ケーブルテレビ

連絡先

info@cna-catv.co.jp

- 過疎地の少人数の学校における課題解決に5Gを活用する。

5Gおよび専用端末を活用して複式学級の学習を学年別の指導への展開を図る。また学習情報から子供の躰き箇所をみつけて個別指導に活用する。その他、低遅延を活用しての遠隔地同士の合奏練習や合同学習への活用、映像等の教材の必要な時に瞬時に高速ダウンロードへも活用する。

過疎地（複式学級）の指導支援

複数校の複式学級の生徒を学年ごとに指導する支援を行う。また、指導用の端末の情報をクラウドに吸い上げ、AIにより各生徒の躰き箇所を分析し、指導に活用する。



ネットワークの構築で場所によらず子供1人に対し多数の先生による授業の実現を可能

遠隔地間の合同授業



低遅延の特性を活かして遠隔の学校間での合同授業(合奏、合唱、子供達の問題解決話し合い)を行うことで多数の生徒の授業の楽しみや、繋がり・刺激を体験する。



映像教材の高速ダウンロード



必要な時に、適正な教材を瞬時にダウンロードして活用する。また、VR等の教育現場で活用し臨場感あふれる体験学習を疑似体験させる。

